

本會は朝鮮人保護と教育の立場上今般假振に起つた鹿生炭坑勞働學議の情況を觀察するに學議の動機及成行に相當注目を要する點多々として學議圖參加者三百名に於る朝鮮人坑夫の死活問題であると勿論其圖威田に鞍馬中の八千に於る朝鮮人坑夫の將來に夥しく影響を及ぼす事は火を見るよりも明らかである。本會は正しき労働運動及労働學議を期とせざるも今圖の如き誤られる學議は庶生の爲め不利に非ナして朝鮮人坑夫の爲莫大なる損失である、今教學議圖側の要求したる十六ヶ條の内容を見ると朝鮮人獨特な問題としては一ヶ條もなく雖てが一數坑夫の待遇改善要求である、然るに總体多數を有する内地人坑夫は何故か之を要求とせずして一人の參加者もなく現在の境遇に甘んじて働いてゐるにも係らず朝鮮人坑夫のみが今般學議を起したることは其間微妙な作用が存在することは常識あるものゝ相似

卷之三

財團法人協調會福岡出張所